

大阪中之島美術館「驚異の部屋の私たち、消滅せよ。」森村泰昌・ヤノベケンジ・やなぎみわー「関連イベント

黄泉平坂

よもつ
ひらさか

排斥と遊戯

photo: Yutaro Yamaguchi

桃は排斥の礫つぎせに非あらず

作・演出 やなぎみわ

5/28(木)・5/29(金)・5/30(土) 大阪中之島美術館 1階ホール

「男神イザナギ 黄泉平坂にいたりしとき

女神イザナミ 追いきたり」

『古事記』によれば、火神を産んで亡くなった女神を追い、あの世に向かった男神は、変わり果てた妻の姿に恐れ逃げ出し、桃の実を投げつけたという。

火や鉱物、土や水を産み出した女神は、死の国へ追いやられることになる。

今回の舞台では、排斥された女神が、本来の姿を現して男神に対する姿が見どころとなる。

下掛宝生流ワキの名手である安田登が、男神イザナギを、稀有な身体表現者である渡邊尚が、女神イザナミを演じる。



photo: Yutaro Yamaguchi

演劇公演

黄泉平坂 ～排斥と遊戯～

2026年

5月28日(木) ①17:30開演

5月29日(金) ②14:00開演 ③17:30開演★

5月30日(土) ④11:00開演 ⑤17:30開演★

公演時間:60分/開場は開演の30分前

③⑤ 公演終了後、アフタートーク★

会場: 大阪中之島美術館 1階ホール

定員: 各回140名

料金: 4,000円(税込 前売) 4,000円(税込 当日・立見)

※未就学児はご入場いただけません。

チケット取り扱い: ローソンチケット(Lコード52954)

<https://l-tike.com/order/?gLcode=52954>



*美術館でのチケット取扱はありません。

★アフタートーク

下記公演は公演終了後にアフタートークを実施いたします。

・2026年5月29日(金) 17:30開演の回

・2026年5月30日(土) 17:30開演の回

登壇者: やなぎみわ(両日)、安田登(両日)、山口洋三(インディペンデント・キュレーター、5/30のみ)

*アフタートークの登壇者・内容・所要時間は変更となる場合があります。

*アフタートークのみのご参加はできません(該当回の公演チケットが必要です)。

*終演後、準備が整い次第開始し、約30分程度を予定しています。

【作・演出】やなぎみわ

【出演】

懸衣翁・男神イザナギ: 安田登(下掛宝生流ワキ方能楽師)

奪衣婆・女神イザナミ: 金沢霞(琵琶奏者)

女神イザナミ: 渡邊尚(身体研究家・サーカスアーティスト)

音楽: JanMah(ギタリスト)

【スタッフ】

舞台監督: 黒飛忠紀(幸せ工務店)

照明: 藤本隆行(Kinsei R&D)

音響: 高田文尋(株式会社ソルサウンドサービス)

ヘアメイク: 吾郷泰英

広報デザイン: 木村三晴(一般社団法人MIWA YANAGI OFFICE)

制作: 森信子(Wolf-note)

主催: 大阪中之島美術館 一般社団法人MIWA YANAGI OFFICE

協力: BENTEN Art Night 歌舞伎町

お問合せ: 大阪市総合コールセンター(なにわコール)

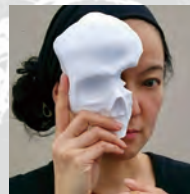
TEL.06-4301-7285(受付時間 8:00~21:00 年中無休)

Website: <https://nakka-art.jp/event-post/sayonara-202605/>



やなぎみわ(美術作家・舞台演出家)

美術製作と同時に主に野外を中心に舞台公演を行っている。1993年エレベーターガールをテーマにした作品で初個展。以後、国内外で展覧会多数。2009年第53回ヴェネチア・ビエンナーレの日本館にて個展。2010年に演劇活動を開始し、1920年代の前衛芸術をテーマにした「1924三部作」を美術館と劇場で公演。2014年には台湾製の特殊車両「舞台車」を製造輸入し、2016年より野外巡礼劇「日輪の翼」(原案・中上健次)を開始。2019年個展「神話機械」が、4都市の美術館を巡回。2021年日台共作の台湾オペラ「アフロディーテ〜阿婆蘭〜」を作演出。2025年六甲ミーツアートにて水上野外劇「大姥百合(オウバユリ)」を上演。時衆や芸能を研究するプロジェクトも行っている。



安田登(やすだのぼる/下掛宝生流ワキ方能楽師)

能楽師として、国内外での能公演に出演。また、神話「イナナノ冥界下り(シュメール語)」でのヨーロッパ公演や、金沢21世紀美術館の委嘱依頼による「天守物語(泉鏡花)」の上演、鳥根の神楽を取り入れた「芸能開闢古事記」など、能・音楽・朗読を融合させた舞台を数多く創作、出演。100分de名著「平家物語」、「太平記」、「源氏物語」講師・朗読。著書多数。



金沢霞(かなざわかすみ/琵琶奏者)

1991年東京生まれ。インドネシア、北海道、エジプト育ち。能を安田登師に、琵琶を塩高和之氏に師事。安田登率いる「東京雑戯團(旧ノボルザ)」のメンバー。ロンドン、リトアニア、日本各地で上演された「イナナノ冥界下り」では冥界の女王エレスュキガル役を務め、『冥界の秘儀』ではイザナミ役として出演。そのほか『銀河鉄道の夜』のジョバンニ役(カメラホールや凱風館など)、『天守物語』の薄役(金沢21世紀美術館など)、『つたじまのオロチ』の海女・観世音菩薩役など。また自作の琵琶語り『木曾義仲と巴御前』などを手がけ各地で公演するなど、新たな琵琶の表現活動にも取り組んでいる。



渡邊尚(わたなべひさし/身体研究家・サーカスアーティスト)

幼少期から常識に囚われない身体の動きを追求し、4足歩行を夜な夜な練習。20歳からは独学でジャグリング、軟体、ムーブメントを研究し独自の技術と哲学を養う。ダンスやサーカスの枠を超えて活動し、これまでに30カ国以上で出演や指導を行う。2023年からは日本初の倒立の祭典「ハルキゲニア倒立フェス」を主催し3年連続で国内外から100人超の参加者を集める。さらに日本各地に練習会支部を作り「逆さま文化」の普及活動中。また、2025年にはインドで行われたAsian Yogasana Championshipにて金メダル2個、銀メダル2個を獲得。(photo: Shirley Dorino)



JanMah(ヤンマー/ギタリスト)

国内外の多彩なアーティストと共演。ライブでは、新しいギター奏法で未知の音、音楽を探索している。主な参加作品・やなぎみわ「日輪の翼」、台湾のアーティストDong Giy氏の受賞アルバム「a method for capsaicinoid analysis」など。(Photo: 三浦麻枝子)

